

平成27年度 高大連携芸術専門講座

「宮島ろくろ制作」

8月29日（土）、30日（日）、9月6日（日）の3日間、広島市立大学芸術学部で実施された「宮島ろくろ制作」講座に、本校から2名の生徒が参加しました。

「ろくろ」というと縦型の土をひねる道具を想像しがちですが、今回使用した「宮島ろくろ」は、木材を加工するための横型のろくろで、宮島の伝統産業である宮島細工を制作するための道具です。今回の講座では、初日に講義を受けた後、実際に宮島ろくろの技術を体験し、枋材で小皿を作成しました。



最終日には、小皿の裏側にろくろを利用してながら紙やすりをかけて表面を滑らかにした後（左写真）、皿の内側部分を大きく彫って紙やすりで磨いて仕上げを行いました（下写真）。



本来ならば、最後に漆を塗って最終仕上げとなりますが、時間の都合上、今回は蜜蝋を塗って仕上げました。



左の写真は完成した小皿です。同様の行程で制作しましたが、細かい部分で個性も感じられる素敵な作品が並んでいます。参加した生徒たちからも、「表現技能の幅が広がった」「自分の適性について理解が深まった」などの感想が寄せられ、貴重な体験をしたことが伺われます。

指導に当たってくださった広島市立大学芸術学部の先生方、どうもありがとうございました。